

平成21年度「大学教育・学生支援推進事業【テーマA】大学教育推進プログラム採択事業」の「三者協働型アクティブ・ラーニングの展開」について、本取組のキーとなるLA(Learning Assistant)が今年度活動した内容について報告します。

## 2010～2011 LA達の活躍

### ①スタディスキル科目を中心とした活動

2010年度は約30科目の授業でLAが起用されました。LAが担う役割は、主に全学共通教育の「スタディスキル科目」を中心とした受講生支援です。具体的な内容は担任者や担当科目によって異なりますが、次のようなものに大別することができます。まず、グループワークにおける「ファシリテーター」としての役割です。例えば、教室の中を巡回し議論が止まっているグループに話し合いの方向性をアドバイスしたり、一つのグループに入って司会進行や意見の引き出し役を務めたりします。また、LAは「ラーニングモデル」としてプレゼンテーションの見本を示すことで、受講生にその技法や留意点等を伝える役割も担います。逆に、受講生が行ったプレゼンテーションや作成したレポート等の成果物に対して、LAがコメントを加えることもあります。LAは担当科目の単位を修得済みですので、過去に授業で学んだことを踏まえて受講生に助言することが出来ます。そしてLAは「メッセンジャー」としての役割も果たします。様々な原因により、担任者の指示や説明内容が受講生に伝わらない場合があります。そのような時にLAが担任者の意図したことを受講生に正しく伝達することで、受講生の理解を促します。LAが担任者と受講生をつなぐ役割を担うことで、授業についていけない受講生を生み出すリスクを低減させ、授業時間内の教育効果を高めることができます。



スタディスキル科目でグループワークのファシリテーションをするLA

### ②社会安全学部ワークショップでの活動

LAの活躍は授業外にも広がっています。2010年7月に「社会安全学部ワークショップ」においてLA達が社会安全学部1年生280名のファシリテーションを行いました。このワークショップは社会安全学部学生が感じている課題や疑問、提案について議論するものでした。大ホールという場所でも280名の学生を活発な議論に導くにはファシリテーターの力が必要でし

# Learning Assistant

## LA活動報告

た。そこで授業内でファシリテーションの実践を積み重ねているLAが起用されました。LAにとっても初めての経験でしたが、すぐに学生の輪の中に入り議論に加わりました。その結果、学生から多くの意見を引き出すことができワークショップ全体を活性化させることに貢献することが出来ました。



社会安全学部ワークショップの様子

### ③ポスターセッションを中心とした広報活動

LAが行った活動を学内外で行われるイベントで広報する活動を行いました。学外では2010年4月の「関西地区FD連絡協議会」と2011年1月の「文部科学省GPフォーラム」でそれぞれポスターセッションに参加しました。ポスター作成はLAが中心となって行いました。完成したポスターは、業務中の苦労話やLA活用の注意点等、LA活動をありのままに表現したものになりました。また、ポスターセッション会場ではLA自身が内容を説明することを通して、来場者と活発に意見交換することが出来ました。また、学内では2010年11月に学園祭で取組について発表しました。高校生やその保護者の方々に向けて、関西大学の授業が学生の力によって活性化されていることや大学の授業への不安を払拭する契機となりました。このような広報活動はLAの「プレゼンテーション力」や「コミュニケーション力」醸成にもつながっています。

### ④企画から携わった研修活動

LAとして必要なスキルや姿勢を身につける各種研修を行いました。まず、学外講師を招聘した「ファシリテーター研修会」を2010年1月と9月の2回行いました。ここでは、話し合いのプロセスを見る「観察力」、非言語コミュニケーションを含む「コミュニケーション力」や意味ある場にするために必要な「ファシリテーションスキル」の基礎を修得しました。また、LA自身が企画立案・運営する研修も行われました(2010年2月、11月)。専任教員と研究員(アドバイザリースタッフ)の指導のもとでLA有志が研修をデザインしました。研修内容は「プレゼンテーションの技法」や「クリティカル・シンキング」についてでした。いずれのスキルも、LAが実際にLAとして業務を行う中で、高い必要性を感じたものであったため、参加したLAの興味・関心も高くスキル高揚にも大きく寄与しています。

## LAとは?

LAとは受講生のアクティブ・ラーニング促進を目的とした初年次教育(スタディスキル科目等)の学習支援スタッフです。今年度は約40名のLAが在籍していました。在籍しているLAは全て学部生であり、担当する科目を修得済みです。LAは受講生と同年代で身近なラーニングモデルとして授業内のグループでの学習を中心に支援しています。

## LAの概念図

